

尾道市立大学附属図書館 新館 2025年度完成予定

尾道市立大学美術館

地域総合センター

尾道市立大学附属図書館

情報処理研究センター

教職支援センター

国際交流センター

医務室・学生相談室

キャリアサポートセンター

Various Facilities **各種施設**



2025 - 2026
Museum of Onomichi City University
MOU

2008年、尾道市立大学美術学科教育・研究プロジェクトとして、MOU尾道市立大学美術館における展示企画をスタートしました。以来、当館では本学美術学科・研究科学生、卒業生及び教員を中心に大学における教育・研究成果を様々な角度から発表してきました。



大学院 進級制作展



In Focus15 - 卒業生の現在 -



Curriculum -授業作品展-



アーティストトーク



ワークショップ°



岸む音/際の上 Murmuring Shores / On the Brink / アーティストトーク

2025年度のスケジュール

7月開催の「Curriculum－授業作品展－」では、現在の大学のカリキュラムを網羅的に紹介。その後、9月に卒業生の活動に焦点を当てる企画「In Focus（インフォーカス）」では、それぞれの領域で活発に創作活動を展開している瀬戸口祐佳、近藤優紀、船津さくらの作品を紹介。10月には愛知県立芸術大学、広島市立大学、本学の日本画合同企画「三大学合同 日本画授業作品展」を開催。11月はデザインコース教授、桜田知文の退任展を開催。本学着任時からの作品を展示します。他にも、授業と連動した3企画を開催。例年通り大学院2年生が院1年次の制作成果を発表する「進級制作展」のほか、油画コース3年次「進級制作展」、デザインコース3年次「地域プレゼンテーション課題 展示会」では、展覧会の一連の流れや展示作業についても学生が主体的に取り組みます。年度末には油画修了生である住井里帆、名座昌美による卒業生自主企画展「しんしよく」を開催。

Schedule

※開催場所は、フロンティアアギャラリーにて開催予定です。

尾道市立大学美術展「所蔵作品展」
3/15(土)・4/6(日) 休館日 水・木曜日【教員観覧】
本学美術科学生が所蔵した作品と過去に発表された、重要作品を展示します。

尾道市立大学 大学院美術研究科「進級制作展」
5/3(土)・5/11(日) 休館日 水・木曜日
大学院で専門的に修得過程を行っている卒業生・進級・デザイン専攻のミズノコローネとデザイン専攻の佐藤先生が、1年分の制作を発表します。

Curriculum－授業作品展－
7/12(土)・8/11(月) 休館日 水・木曜日
1年生から大卒までの学生が、各講義・演習・ゼミナールによるコースと実習プログラムで修得してきた作品を展示し、芸術教育の授業の全体像もご覧いただけます。

In Focus 16－卒業生の現在－
9/6(土)・10/5(日) 休館日 水・木曜日
本学の卒業生・修士・博士が、各自が活躍している様々な分野の現場に密着（日本橋、建築家、作家、数学者など）のゼミナールの成果を展示します。

愛知・広島・尾道 三大日本画学生会作品展
10/18(土)・11/3(月) 休館日 水・木曜日
本学美術科正統派の、名古屋方面、尾道市立大学の日本画会からの学生作品展です。

福田知文 遠征展「こころのままに」
11/15(土)・12/14(日) 休館日 水・木曜日
国文学者の福田知文氏を中心としたデザイン・イラスト界（森田浩之）や音楽家（山本嘉次郎）とのコラボレーションです。美術館に参拝し、展覧で制作した作品を中心に鑑賞いただけます。

第13回 高校生絵のちの尾道四季展
12/20(土)・1/11(日) 休館日 水・木曜日 ※毎年春期休館12/29～1/30
尾道の絵が市民生活の賑わいを感じてもらうため。
市内各会場で開催し、絵画だけでなく写真作品を中心とした作品が並びます。

美術学科油画コース3年次「進級制作展」
1/17(土)・1/25(日) 休館日 水・木曜日
30日間以上の製作時間を経た上、進級前で制作発表を行っている本学油画コース3年次の学生による展覧会となります。

**美術学科デザイン3年次
「地域プレゼンテーション課題」展示・発表会**
1/30(土)・2/1(日) 休校中・休館
本学デザインコース3年次の学生による地域の発展のためにテーマにした課題を展示、プレゼンテーションで発表します。

第22回 卒業制作展・第20回 修了制作展
2/5(金)・2/15(日) 休校中・休館
大学での修業過程を終え、卒業生・修士の作品を展示します。
本学は芸術院では本学独自の作品、芸術で学んだ制作手法を凝縮してご紹介します。

卒業生自主企画展「しんじょく」
3/22(金)・4/12(日) 休館日 水・木曜日
2021～2022年度中に本学美術コースを修了した地元出身、名産関係、2名以上多数の卒業生です。

※ 展示室は3階にある市民館内が中心です。
※ 展示内容が変更になる場合があります。 ※ 休館日はお盆休み（8/17・17A・18-20）と7/21 休館日及びコロナによる休館日

尾道市は商都として約850年もの長い歴史を有し、古代から現在に至るまで様々な文化を育んできたまちです。旧市街地を歩くと、あらゆる時代が混ざり合った不思議な魅力のあるまちであると感じることができます。この地を何度も訪れる観光客が多い理由は、「まだすべてを見ていないのではないか」とか「何度も来ているはずなのに、ここは来たことがない」など、市街地や斜面地の路地が複雑に絡まったラビリンスに魅せられているからなのかもしれません。新たな店が不思議な場所に突然登場するのも、また、時を経るとその店が次第に尾道の風景として馴染んでくるのも、このまちの持っている歴史の融合感覚といえます。

そのようなまちにある尾道市立大学の理念の一つに地域貢献があります。地域社会との連携は開学以来取り組んできた本学の大きな特徴といえるでしょう。そのなかで、学生と教員の長期間の取り組みで花開いたプロジェクトも少しずつ増えてまいりました。このような地域貢献活動の経験は、卒業後の活躍の場においても多大な成果を生み出すことにつながっています。ここ地域総合センターでは、多様なプロジェクトに安心して取り組めるようサポートを進めています。



地域総合センター
高垣 美晴



尾道学入門



教養講座



尾道文学談話会 広報物



経済情報学部公開講演会 広報物

2024年度受託研究・受託事業(抜粋)

令和7年尾道市成人式記念品 ポストカードデザイン制作

研究期間：2024年6月～9月
担当教員：伊藤麻子(美術学科准教授)
依頼元：尾道市教育委員会
参加学生：3名



美術学科4年 村上桃花

まちかどフードバンتری 看板デザイン制作業務

研究期間：2024年8月～10月
担当教員：伊藤麻子(美術学科准教授)
依頼元：尾道市社会福祉協議会
参加学生：1名



美術学科3年 高橋成士

因島土生商店街シャッターデザイン制作業務

研究期間：2024年6月～7月
担当教員：西原美彩(美術学科講師)、
伊藤麻子(美術学科准教授)
依頼元：土生町商店街連合会
参加学生：2名



美術学科4年
梅野壮真



美術学科4年
原田夏希

似顔絵制作業務 (しまなみ海道来島海峡サービスエリア、 大浜パーキングエリア)

研究期間：2024年11月2日、2025年3月20日
担当教員：桜田知文(美術学科教授)
依頼元：JB/ハイウェイサービス株式会社しまなみ営業部
参加学生：各日3名



美術学科4年 大下和/卒業生 Ng Tang Yuet
美術研究科1年 松下由佳/2年 藤川愛

他8件

受託研究4件 受託事業8件 計12件

2024年度 開催講座(主催)

尾道学入門公開授業(全7回)

5月～7月開催
講師：小川長、幸野昌賢、豊田雅子、真野洋介、大谷悠、
藤沢毅、林良司(すべて外部招聘講師)

尾道文学談話会(全6回)

4月～9月
講師：芸術文化学部日本文学科教員

教養講座(全3回)

10月2日、16日、30日開催
第1回 南郷毅(経済情報学科教授)
「安心してインターネットを楽しむために～情報セキュリティの基本～」
第2回 高島彬(日本文学科講師)
「ヒトを知るための言語学：認知言語学と言語相対論」
第3回 山梨千果子(美術学科講師)
「古典模写 ～うつしてまなぶ～」

教養講座スペシャル(全2回)

10月12日開催
第1回 吉田幸(日本文学科准教授)
「研究って面白い！～私の研究履歴をとおして～」
第2回 小野環(美術学科教授)
「『絵』から『場所』へ～これまでの実践を辿る～」

2024年度 開催講座(協力)

美術学科公開講座

「ウルシ塗りの箸とスズ鍔物の箸置きを作ろう！」
8月24日開催
講師：桜田知文(美術学科教授)・林宏(美術学科准教授)

経済情報学部公開講演会

「為替レートと日本経済の構造変化」
10月25日開催
講師：豊田利久(外部招聘講師)

経済情報学科森本研究室公開ゼミ

「尾道の歴史的遺産と集客へ学生のアイデアから～」
12月22日開催
講師：森本幾子(経済情報学科教授)・森本ゼミ学生

第22回地域プレゼンテーション「デザイン×私のまち」

展示会 2025年2月22日～2月25日開催
発表会 2025年3月1日開催
芸術文化学部美術学科デザインコース3年生

尾道市立大学コンピュータ公開講座

「統計ソフトgretlでお手軽経済分析をやってみよう。」
2025年3月1日開催
講師：堀江進也(経済情報学科教授)

本学附属図書館は、久山田水源地のほとりにあって眺望にすぐれ、また山を背にして読書や学修に好ましい静謐な雰囲気を得ています。

附属図書館では、本学の各学部学科の学生の学修や教員の研究に対応できるよう、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料・古文書・電子ジャーナル・データベースなどの資料があり、各種メディアの利用により、学修・研究・就職活動等に活用されています。学術分野だけでなく、小説や趣味に関する本などもあり、多く利用されています。

また、希望図書リクエストサービスや、文献複写・借用図書申請など、Webを使って手軽に申し込みできるシステムを備えています。調べもの相談などのレファレンスサービスも随時受け付けており、これらは多くの学生に活用されています。他の図書館等が所蔵する雑誌論文が必要になった場合など、遠慮なく受付で尋ねて下さい。

思索のための理想的な空間を大いに利用して本を読み、情報を収集し、学修や研究を進めて行ってもらいたいと願っています。また、研究・自主学修に限らず、「憩いの場」としても附属図書館を役立てていただきたいと思います。

現在、新館建設をおこなっています。(2026年10月開館予定)



尾道市立大学附属図書館

岡田 匠亮



尾道市立大学附属図書館

桑名 未来

高橋玄洋記念室

本学の前身、尾道短期大学一期生で、NHK連続テレビ小説「繭子ひとり」(視聴率55.2%を記録)など多数の人気番組を手がけた脚本家・高橋玄洋氏の著作、脚本、映像、絵画、書、焼き物、書簡、写真など約870点余りの貴重な資料を展示しています。



下垣内文庫

近世地方俳諧の研究者である下垣内和人氏から寄贈を受けた計約3100点の近世俳諧資料です。これらの資料は、下垣内氏が長い年月をかけてこつこつと集められた、江戸時代から明治時代にかけての俳諧資料であり、地方俳諧の資料としてこれだけ大部に揃えることは難しく、たいへん貴重なものです。



一枚摺・可菴夏興『夕蟬や』



一枚摺・梅室秋興『夕かぜは』



一枚摺・三石七回忌追善『梅にわれ』



松本幸四郎・市川高麗蔵口上



一枚摺・羅風夏興『螢火の』



外観



書庫内



1階フロア



美術閲覧室
(マンガコーナーが設置されています)



尾道関連資料コーナー

尾道関連資料コーナー

尾道ゆかりの資料や、本学教員の著作、本学卒業生・在学生の著作などを収集し、自由に閲覧できるコーナーを設置しています。

また、その他に英語多読コーナー、仕事関連コーナー、展示スペースなどもあり、活用されています。

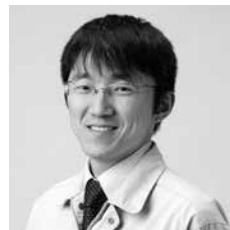
情報処理研究センターは、コンピュータや通信ネットワークなどから構成される尾道市立大学の情報システムを効率的に管理・運営し、教育・研究・教務の情報技術による高度化を推進するための機関です。

2023年10月の情報システム更改では、ノートパソコンやスマートフォンを携行する学生のため、キャンパス内のWi-Fi拡充、メールシステム等のセキュリティ強化、利便性向上を図りました。

また、進化し続ける情報社会に対応したセンターを目指しており、地域貢献と研究活動の推進などを目的として、コンピュータ公開講座や情報科学研究会なども開催しています。



第36回 情報科学研究会（2024年度）



情報処理研究センター
田上 憲二

設備・サービス一覧

●情報設備

サーバ：4台（仮想サーバ：37台）
貸出用ノートPC：Windows PC、MacBook
パソコン対応教室：中講義室（225座席）1、小講義室（120座席）2

●提供サービス

SINET への接続による高速インターネット通信の提供
ポータルサイト（授業情報等の連絡、履修登録など）
学生証（ICカード）による、図書、オンデマンド印刷システムの利用
Wi-Fi（学内115箇所にアクセスポイントを設置）
オンデマンド印刷（10台設置）、クラウドメールサービス
学外からのVPN接続、Microsoft Office、ウイルス対策ソフトの配布
情報システム利用マニュアルの提供

●人的サービス等

専門性に優れた上級生・大学院生をシステム運用補助員に採用し、学生の質問等にすぐ答えられる体制をとっています。時間外でも、平日は翠明館の自習室を午後10時まで開放し、予習・復習の便宜を図っています（休日（土日祝）は午後8時30分まで利用できます）。

2024年度 情報処理研究センター主催行事

●情報セキュリティ講習会（対面）

2024年12月9日（1）10:40～11:10（2）11:20～11:50
教職員向け：「情報セキュリティ講習会」
南郷 毅（経済情報学部 教授）
2024年12月12日13:10～14:40
学生向け：「情報モラル編＋日常のセキュリティ編の一部」
南郷 毅（経済情報学部 教授）

●コンピュータ公開講座（対面）

2025年3月1日 13:00～15:00
「統計ソフト gretl でお手軽経済分析をやってみよう。」
堀江 進也（経済情報学部 教授）



教職支援センターは、教員を目指す学生を支援する機関です。運営委員を担当する各学科教員が教職課程全般のガイダンス、授業の履修方法や計画の指導、介護等体験や教育実習等の指導を行っています。また、例えば「自分は教員に向いているのだろうか」というような相談にも応じています。キャリアサポートセンターとの連携も行っており、公立学校の教員採用試験、私立学校教員公募、臨時的任用教員や非常勤講師の募集情報等の発信も行っています。

C棟1階にある教職支援センターのブースでは、教科書、教育新聞、教員採用試験情報誌、参考書、問題集等を整えています。教員採用試験対策に各自が取り組めるようにオンライン学修教材も導入しています。模擬授業や教育実習授業で教材作成が必要となったときに活用できる用具も取り揃えています。

本学で取得することのできる教員免許状は以下の通りです。

[経済情報学部 経済情報学科]

高等学校教諭一種免許状（情報）

高等学校教諭一種免許状（商業）

[芸術文化学部 日本文学科]

中学校教諭一種免許状（国語）

高等学校教諭一種免許状（国語）

[芸術文化学部 美術学科]

中学校教諭一種免許状（美術）

高等学校教諭一種免許状（美術）

*なお、商業、国語、美術については、上記の一種免許状を取得した上で、本学大学院各研究科を修了し、所定の単位を修得した場合はそれぞれに応じた専修免許状を取得することができます。

国際交流センターは尾道市立大学における国際化を推進するため2011年に創設され、教職員13名で運営されています。主な業務は、学生の海外語学研修参加に対するサポート、外国人留学生の迎え入れや海外協定校との共同研究体制の構築などです。

また、海外の大学との学術交流も意欲的に行っています。これまでに、中国、台湾、ベトナムの大学計11校と交流協定を締結しました。

さらに、日本人学生と外国人留学生が相互に友情を育むための様々な異文化交流イベントの企画・運営や、外国人留学生が日本の生活習慣や環境に順応し、充実した留学生生活を営めるよう、授業や日常生活に対する支援をしています。

このように様々な活動を通して、尾道市立大学をグローバル志向の学生が在籍する国際的教育機関に発展させたいと思っています。



国際交流センター

KOBAYASHI Dawn

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：教育心理学、自己効力感、コミュニケーション能力、パフォーマンスを用いた英語学習

指導目標：授業で学生がコミュニケーション能力を身に付け、留学や国際的な活動に関心を持つことを目標にしています。



国際交流センター

KLOEPFER Thomas

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」

研究題目：環境経済学

指導目標：今後社会に出る際に、英語でのコミュニケーションが役立つことを知ってもらい、積極的に学が楽しさを感じてもらえるような授業を志しています。

国際交流センター

辰己 真由美



To future and current international students, welcome to Onomichi City University! International Office provides services such as helping with study abroad procedures and advising international students about study and life in Japan. Please take advantage of these services. Also, we hold various cultural activities and events throughout the year to promote cultural exchange between international students, Japanese students, and the local community.

We are looking forward to meeting you!

希望交換留学或已派遣到本校の各位留学生、尾道市立大学欢迎你！本中心负责提供办理有关留学的各种手续、及在日学习生活的指导和咨询等服务。请大家积极利用。此外，每年在校内外举办各种各样的文化交流活动，促进留学生与日本学生、本地区居民的文化交流。期待大家积极参与！

海外留学体験談

PSU(ポートランド州立大学)短期語学研修

経済情報学科3年

山岡 哲也

ポートランド州立大学での短期留学では、英語のコミュニケーションとアメリカの文化について学校やホームステイでの生活を通して学びました。学校の授業では、実践的な英会話を教わると共に様々なフィールドワークを行なって現地の人々の文化や考えを知ることができました。放課後は大学周辺の色々な場所を観光し、ショッピングを楽しみました。また、NBAの試合観戦や山でのハイキングなどのプログラムがあり、これらの活動を通して他の大学から来た日本人留学生や、ポートランド州立大学の人と親交を深めることができました。ホームステイでは、日常生活の中でのホストファミリーとのコミュニケーションを通して英語力を向上させることができました。私のホームステイ先は、アメリカだけでなくインドやサウジアラビア、中国など様々な国の出身の人たちが一緒に暮らしていたので、多様な文化や価値観を学ぶことができました。

今回の短期留学では、このように多くの貴重な経験をして自分自身の視野を広げることができました。



国際交流イベント



台湾 国立嘉義大学との合同カンファレンス



国際交流センター講演会



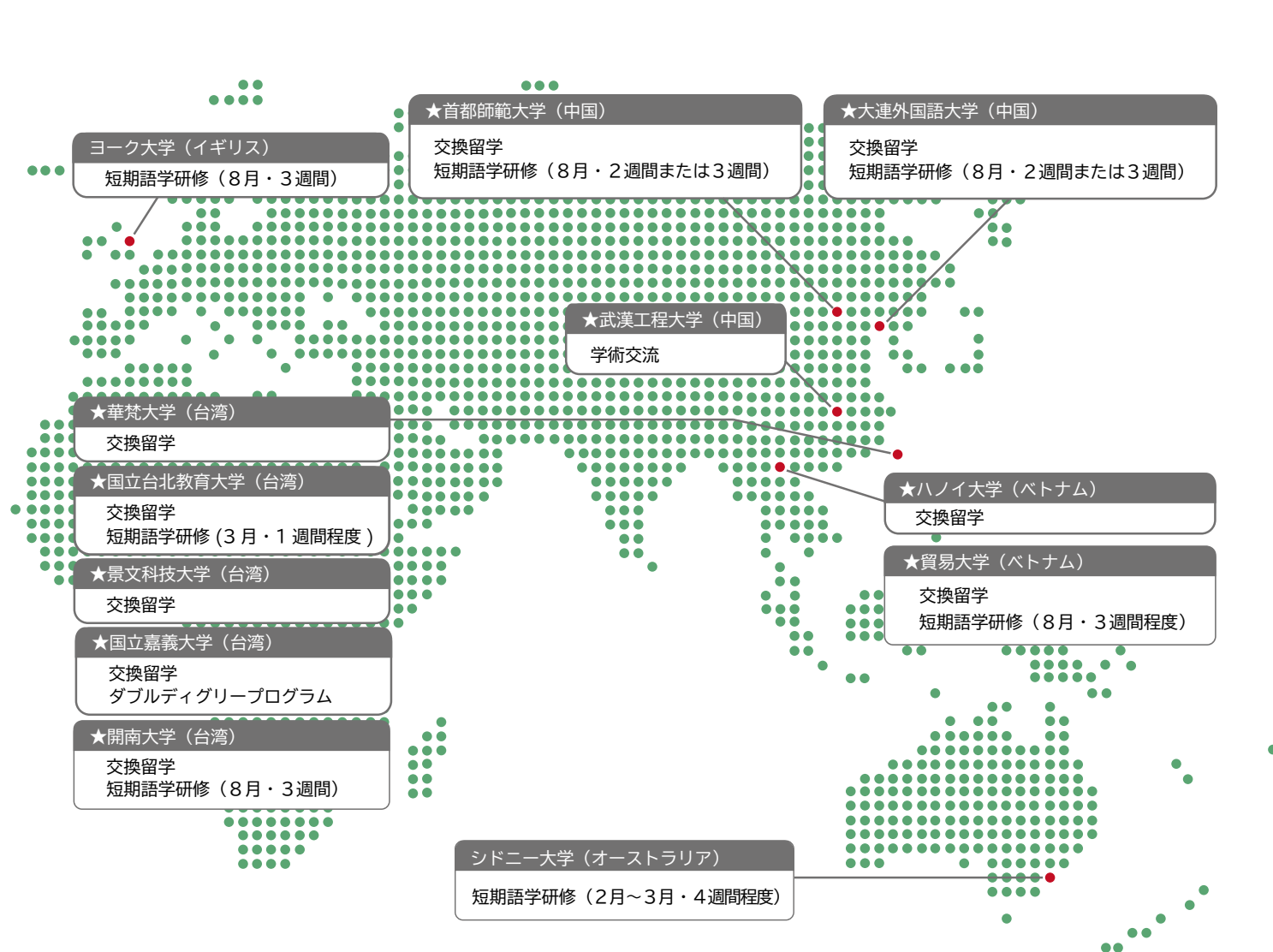
留学生歓迎会



One day trip (国際交流のための1日研修)



卒業予定留学生による報告会
及び地域の方々の交流会



協定校等における海外短期語学研修

本学では、協定を結んでいる海外の大学をはじめとして、短期の語学研修に参加できる制度を用意しています。渡航に必要な知識や理解を深めるため引率教員と事前学習を実施し、帰国後には事後学習や報告会を開催するなど、安全で実りのある研修になるようサポート体制を充実させています。また、本学後援会が研修費用の助成を行う制度も用意しています。

訪問先での研修プログラムは大学ごとに異なりますが、語学の学習のほか、文化体験や地元企業への訪問、さらには休日に景勝地を訪れるツアーが用意されている等、どのプログラムも工夫が凝らされています。外国語の習得のみを目的としたものではなく、ホストファミリーや現地の学生、市民などの様々な人々との交流を通じ、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指した内容となっているのが特徴です。



尾道市立大学では教職員が連携して学生のみなさんのサポートにあたります。連携の拠点となるのが、医務室と学生相談室です。医務室では心身の健康をサポートする健康相談と障がいがある学生や困りごとがある学生の修学サポートの活動を行っています。充実した学生生活が送れるよう、学生のみなさんを応援しています。

医務室 専門スタッフ（看護師・障がい学生支援コーディネーター）が在室しています。

●健康相談

病気やケガ、様々な不安やストレスについてお話を伺います。



●修学サポート

障がいがある学生、困りごとがある学生の大学生活をサポートします。



学生相談室

心理カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）によるカウンセリングを行います。
学生本人やご家族からの相談に応じます。



関係学生団体「おのだいピアサポ」が
学生の視点でピア・サポート活動を展開しています。



新入生対象履修相談会



おのまる

5つの柱による進路支援

●キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、求人情報、企業情報、企業説明会の情報など「就職活動に関する情報」や、進学や資格取得など「進路全般に関する情報」を提供しています。学生の進路相談に応じるスタッフが常駐し、進路相談のほかに履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など進路に関することなら何でも相談に応じています。また、キャリアカウンセラーによるカウンセリングも定期的に実施しています。

●キャリアサポートセンター運営委員会

キャリアサポートセンター運営委員会では、定期的に就職ガイダンス、セミナーを開催することにより、学生の就職に対する意識の高揚を図るとともに、円滑な就職活動を行うことができるよう支援しています。また、地元企業ガイダンスや学内個別企業説明会、業界研究会を開催し、学生の就職活動がより具体的になるよう支援をしています。

●課外講座による実践的指導

全学年を対象に課外講座を開講することにより、学生の進路選択、就職活動の一助となるようなサポートを行っています。

・公務員受験対策講座（2・3年生向け）

「教養分野コース」、「専門分野コース」（行政系）をラインナップし、幅広い採用試験に対応できる講座となっています。

・簿記検定対策講座

日本商工会議所簿記検定合格の支援をしています。

・情報技術資格対策講座

MOS・Word、MOS・Excel、の講座を開講しています。

●教職員による積極支援

全教職員が、チューター制をはじめとする少人数教育によりきめ細やかな指導を行うとともに、求人開拓と関係強化のための企業訪問を実施して、積極的に支援しています。

●キャリア教育

授業科目として、1年生向け「キャリア形成入門」と、2～4年生向け「キャリア形成演習」「ビジネスキャリア入門」を開講しています。「キャリア形成入門」では、卒業後の社会的自立に向けて、自分らしい生き方や働き方を考え、主体的に取り組む姿勢を身につけます。「キャリア形成演習」では、実際の企業・団体での経営課題にチームで取り組み、プレゼンテーション資料を作成し発表することで、就業力や社会人基礎力を身につけます。「ビジネスキャリア入門」では、学生が社会や職業に対する理解を深めることを目的として、企業研究をはじめとする実践的なグループワークと、外部講師による働き方に関する講話を通じた学びを提供します。これにより、職業観や就業意識の形成を促し、将来の職業選択に資する基盤を築くことを目指します。



キャリアサポートセンター 講師

八木 力俊

担当科目：「キャリア形成入門」、「キャリア形成演習」、「ビジネスキャリア入門」

研究テーマ：「組織開発」、「インターナル・マーケティング」、「キャリア形成」

進路支援の取り組み

進路選択は学生の人生に大きな影響を与える重要なことです。

キャリアサポートセンターでは、学生がやりたい仕事に就き、いかに自己実現できるかを基本とし、一人一人に合わせた適切な進路指導をします。近年、就労意識が低いままで入社したり、入社後にミスマッチが発覚したり、若者の早期離職が社会問題となっています。本学では社会人基礎力を育成するカリキュラムを取り込んだガイダンスやセミナーを開催し、就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力の育成をしています。教職員が一体となり、就職相談、求人開拓、情報提供を通して学生の進路選択を万全のサポート体制で支援していきます。



①インターンシップ

受入先企業と本学の合意で進める独自のインターンシップを行っています。2024年度は53名の学生が参加し、実習を無事終えることができました。三省合意で定義された内容に基づく就業体験を推奨し、企業との共同による「パーパス（企業の存在価値）を中心とした内的キャリア（やりがい）のマッチングを図るインターンシップ」を目指して、プログラム内容の充実を図ってまいります。また、事前学習、事後学習、報告会を組み合わせた通年のプログラムを通じて、学生の専門研究分野に関する認識を高めるだけでなく、職業観・職業意識を育成し、適切な職業選択を促進します。

②学内企業説明会

7月に業界研究会をオンラインで開催しました。オンラインならではの特性を生かして、幅広い地域・業界の企業に参加いただいています。

この業界研究会は、本学学生にとって企業の採用担当者との貴重な面談の機会となっており、就職活動への意欲醸成につながっています。また地元の企業を招いた対面形式での業界研究会も開催し、幅広く情報を収集できる機会を学生に提供しています。

③就職ガイダンス・業界セミナー・各種実践講座

主に3年生を対象に「就職ガイダンス」を開講しています。就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、社会人基礎力を育成できるカリキュラムとなっており、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立を図れる能力を育成する内容となっています。また、2年生、3年生を対象に企業の担当者を招いて、学内業界セミナーを開催しています。学生の職業観や勤労観の育成を図り、学生が産業や職業に関する知識や理解を深めるよい機会となっています。その他実践力を身に付けるためにSPI（筆記試験）対策講座や自己分析・エントリーシート作成講座、面接対策講座などを実施しています。

④就職・進路相談

キャリアサポートセンター職員や専門のキャリアカウンセラーによる進路相談を始め、エントリーシートや履歴書添削、面接練習を含む個別相談・指導を行っています。

⑤市内企業との連携

尾道市内の企業と学生との情報交換を目的として、市内企業を対象としたイベントやガイダンスを開催しています。3年生のみならず全学年を対象とし、学生に地元企業を紹介するだけの場ではなく、様々な業種・職種などを深く学習していく業界・企業研究という側面も持たせています。

就職状況

2024年度卒業生の就職率(就職希望者のうち、就職し得たもの)は98.5%(前年度96.9%)、内定者数は269名(前年度250名)となっています。

学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業者	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	217	201	199	99.0%(前年度 98.0%)
日本文学科	56	48	47	97.9%(前年度 91.7%)
美術学科	53	24	23	95.8%(前年度 96.0%)
合計	326	273	269	98.5%(前年度 96.9%)

(1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、115名が広島県・岡山県等の中国四国地域へ就職をしており、全体の42.8%(前年度38.8%)を占めています。また、大都市圏への就職者数については東京都62名(前年度67名)、大阪府18名(前年度33名)と、全体の29.7%(前年度40.0%)を占めています。これは、尾道市を含む中国・四国各地域の発展に貢献できる人材を輩出するだけでなく、大都市圏でも活躍できる人材を育成するという就職支援の方針として取り組んできた結果です。

(2) 業種別動向

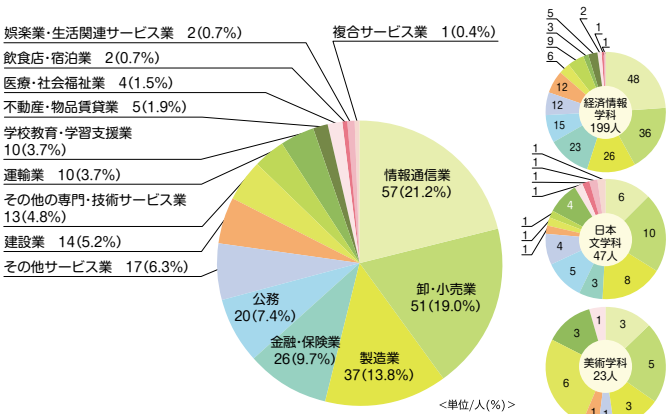
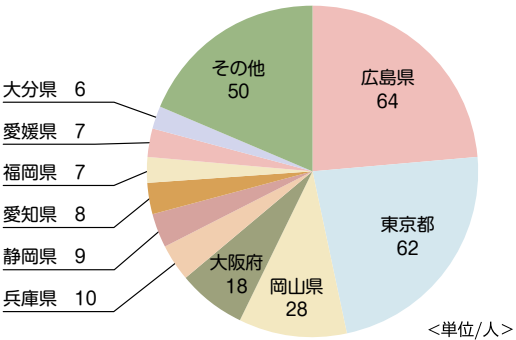
業種別の就職先では、情報通信業(21.2%)、卸・小売業(19.0%)、製造業(13.8%)、金融・保険業(9.7%)で約6割を占めています。

学科別にみると、経済情報学科は、情報通信業、卸・小売業、製造業、金融・保険業が上位を占めています。日本文学科は、卸・小売業や製造業、情報通信業の他、公務、学校教育・学習支援業が上位を占めています。美術学科は、卸・小売業の他、グラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。

経済情報学科 99.0%

日本文学科 97.9%

美術学科 95.8%



主な就職先 (過去3年間の就職先から抜粋)

〔株式会社〕等省略、順不同

経済情報学部 経済情報学科

- 建設業 積水ハウス 一条工務店
- 製造業 シャープ リコージャパン アイリスオーヤマ コロナ 三菱電機ビルソリューションズ パナソニックソーラーシステム製造 プレス工業 黒崎播磨 サンワサプライ ダイキョーニシカワ YKK AP 古河電池 荏原実業 補助工業 サタケ 三協立山 シギヤ精機製作所 指月電機製作所 上村工業 荻野工業 タカラスタンダード 浜松ホトニクス クリナップ フィガロ技研 丸善製薬 アンデルセン
- 電気・ガス・熱供給・水道業 広島ガス つばめガス 中電工 四電工 九電工 JFEプラントエンジニアリング
- 情報通信業 富士通Japan ANAシステムズ 大塚商会 日立ソリューションズ西日本 ドコモCS中国 両備システムズ 富士通四国インフォテック NTTデータ九州 富士通Japanソリューションズ九州 ハイエレコン ネクストビジョン シーイーシー マーブル
- 運輸業 日本航空 西日本旅客鉄道 近畿日本鉄道 中部スカイサポート 中国バス
- 卸・小売業 ニトリ 良品計画 大創産業 ホシザキ中国 ハローズ 山田養蜂場 食協 山崎金属 ヤマエ久野 トラスコ中山 シンギ
- 金融・保険業 ゆうちょ銀行 第一生命保険 オリエントコーポレーション 広島銀行 中国銀行 トマト銀行 山陰合同銀行 愛媛銀行 伊予銀行 阿波銀行 徳島大正銀行 百十四銀行 十八親和銀行 静岡銀行 清水銀行 セブン銀行 広銀証券 しまなみ信用金庫 広島信用金庫 呉信用金庫 広島県信用組合 広島県中小企業共済協同組合 徳島県信用保証協会 三井住友トラスト不動産 長谷工リアルエステート 穴吹工務店 アーキテクトデベロップー エスリード建物管理 大和リース 大東建託リレーシング 大東建託パートナーズ カチタス KPMG税理士法人 税理士法人ゆびすい 山口フィナンシャルグループ メンバーズ 総合オリコム社
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 星野リゾート・マネジメント アパホテル ドートルコービー TBCグループ ミュゼプラチナム スペースエム 物語コーポレーション きらく 西日本リネンサプライ
- 教育・学習支援業 四谷大塚 福山大学 兵庫県内公立高等学校
- 医療・福祉 日本赤十字社 広島市社会福祉事業団
- 複合サービス業 福山市農業協同組合 三原市農業協同組合 晴れの国岡山農業協同組合 JA岡山市 山口県農業協同組合 JA淡路日の出 JA大分
- その他のサービス業 日本年金機構 ジェイアール西日本ウェルネット 三原商工会議所 マツダエース
- 公務 国税専門官 尾道市 福山市 広島市 広島県 香川県 京都府 大分県 静岡県 富山県 京都市 浅口市 真庭市 出雲市 倉吉市 山口市 岩国市 八幡浜市 三豊市 美馬市 淡路市 福知山市 加賀市 松坂市 安芸太田町 和気町 土庄町 大定町 吉賀町 徳島県(警察事務) 兵庫県警 東京消防庁 京都市消防局 四国中央市消防本部 多度津町消防本部 自衛隊一般曹候補生

芸術文化学部 日本文学科

- 建設業 ナカタ・マック・コーポレーション
- 製造業 広島化成 アンデルセン 協同プレス トッピンググラフィックコミュニケーションズ グラフィック プリントバック 永野総業 マルケー食品
- 情報通信業 ザメディアジョン CIC 尚文出版 徳島新聞社 フラッグ 日本ナレッジ 西鉄情報システム パラミックス琉球 メディコム
- 運輸業 岡山土地倉庫 日本郵便
- 卸・小売業 関包スチール タイドー フジデン メガネトップ ザグザグ やしまグループ プレひまわり キクチメガネ 福山三菱自動車販売 ハローズ
- 金融・保険業 広島信用金庫 しまなみ信用金庫 第一生命保険 明治安田生命保険 広島県信用保証協会
- 不動産・物品賃貸業 ニッポンレンタカーアーバンネット レント タカハシ
- 専門・技術サービス業 山口フィナンシャルグループ アイ・ケイ・ケイホールディングス 松屋フーズホールディングス シンユニティグループ
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 共立メンテナンス 但馬屋旅館
- 教育・学習支援業 公立中学校教員(広島県・愛媛県・群馬県・福井県・宮崎県・長崎県・福岡市・神戸市) 私立学校教員(英真学園 英真学園高等学校・尾道学園 尾道中・高等学校・明星学園 浦和学院高等学校) 学校事務(琉球大学)
- 医療・福祉 大阪市民病院機構 オールケア・グループ
- 複合サービス業 広島市農業協同組合
- その他のサービス業 社会保険診療報酬支払基金 全日警
- 公務 尾道市 福山市 世羅町 甲州市 広島県(警察事務) 京都府(学校事務) 浅口市 日向市 なら歴史芸術文化村

芸術文化学部 美術学科

- 建設業 一条工務店
- 製造業 あじかん 赤穂化成 タカラトミー 大阪印刷 キャستم
- 情報通信業 バルテス イートレックライズ マーブリングプランニング スピッカート アバンテック グラйд クリーク・アンド・リバー社
- 卸・小売業 宮地電機 ハローズ キャン ほぼ日 アミーゴ イズミ
- 不動産・物品賃貸業 ティーケービー
- 専門・技術サービス業 キタムラ 中国四国博報堂 デジマガラフ TCD キーワードマーケティング チトセアート アイディーエイ アドブレーション 東京映像美術
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽 C-United ローズガーデン 覇スコレ・コーポレーション
- 教育・学習支援業 広島県内公立高等学校 岡山県内公立中学校 山口県内公立中学校 大分県内公立中学校 高松工芸高等学校 徳島県立名西高等学校
- 医療・福祉 創樹会
- その他のサービス業 尾道空き家再生プロジェクト イマジカデジタルスケープ 第一技研
- 公務 陸上自衛隊



ダイキョーニシカワ株式会社

経済情報学科

飯山 隼也

出身校：
島根県立松江商業高等学校

私は就職活動を通じて自己分析の大切さを実感しました。就活では自分の長所短所、学生時代に力を入れてきたことなど、自分自身について質問されます。その質問に答える上で重要になるのは今の自分を作り上げてきた様々な“体験”と“経験”です。これらを話の構成に入れて学んだこと身につけたこと、仕事での再現性などを伝えると説得力が高まり、深みを持たせることができます。そのため、自己分析はおろそかにせず時間をかけて過去の自分を振り返ってみてください。自己分析をする際は今までの体験や経験、得た学びを書き出してまとめてみる良いでしょう。経験や学びを深掘りしていくと自分の長所短所にもたどり着くと思います。また、周りの人視点からの自分について教えてもらえると新しい発見やより良い自己分析に繋がります。

大学では高校よりも自由度が高まるので色々なことに試行錯誤しながら挑戦してみてください。その経験や学びが就活にも生きてくるはずです。

最後に、私が企業の人事の方から言われて印象に残っている言葉は「就職活動はお見合いのようなもの」です。大企業や給料の高い企業が必ずしも良いとは限りません。自分の価値観に合い、力を発揮できる企業に就職するのが一番良いと思います。また、最終的に入社できるのは基本的に1社だけです。内定の多さや就活の終わる早さを周りの人と比較して焦らず、自分のペースで自分自身が納得して進路を決められるように頑張ってください。応援しています。



広島市役所

経済情報学科

藤原 灯

出身校：
広島県立安古市高等学校

私は公務員と民間両立して就活を行いました。民間の就活が始まるまでは希望の自治体の出題率が高い分野を中心に、少しずつですが勉強していました。民間就活が解禁されてからは、3、4月は民間就活に力を入れ、内定を頂いた後に本格的に公務員試験勉強をしていました。公務員と民間を両立して就活を行うのは身体的にも精神的にもしんどい所がありましたが、両者比較したうえで納得できる選択ができたので結果としてよかったと思います。

また、私が公務員試験に合格できたのは、効率を重視して勉強したことと公務員試験の二次対策に力を入れたからだと思っています。公務員試験は幅広い教科の知識が求められますが、自治体によって出題率や配点比率が違います。全ての教科を完璧にすることはできませんし、基本的に6～7割点数を取れば一次試験は受かる自治体が多いので、苦手な教科には手を付けず、出題率の高い分野に力を入れて勉強しました。そして勉強と同時に二次対策にも力を入れていました。志望理由やガクチカ、自己PRを一次試験に通って焦って作成したのでは十分なものがないと考えたので、民間就活に力を入れている時期に実際に民間企業の面接を通して何度も練り直していました。

公務員試験のプロセスは長期間にわたり、試験勉強も楽しいものではありませんが、振り返ると公務員試験を受けてよかったと感じています。皆様が自分にとって納得のできる選択ができるよう祈っています。



株式会社トッパン グラフィックコミュニケーションズ

日本文学科

平井 麻縁

出身校：
広島市立基町高等学校

自己分析は、物語の登場人物を造形することに似ています。例えば、「優しい主人公」を作るとして、「なぜ主人公は優しくなったのか」という背景になる出来事を考えます。自己分析もこれと同じで、自分という人物をわかりやすく説明するために、説明の根拠となる出来事を思い出し、言語化する作業です。

就職活動では、入りたい企業に合わせて自分を作るのではなく、自分を理解した上で仕事をしている姿が想像できる企業を探すことが最も重要だと感じました。よく、自己分析と企業分析はどちらを先にやるべきか?という質問やそれに対する回答を見かけますが、私自身としては、「自分がやりやすい方から始める」というのが最適解だと思います。企業分析を先に始めたとして、気になった企業の理念や募集要項などを調べたり、説明会に参加したりした後、なんでも良いので感想を書き出してみます。その企業に対して面白い・つまらないと感じたら、なぜそう思ったのかを考えれば、それは自己分析になります。反対に、自己分析をする中で、自分が今まで経験してきた出来事から、好きなこと・向いていることをベースに企業を選択していけば、それは企業分析になります。

大学では、自分が興味のある分野について学び、研究できます。その中で自分の好きなもの、得意なことを見つければ、大学卒業後の進路も見えてくると思います。

そのために、キャンパスライフを全力で楽しんでください!



株式会社あじかん

美術学科

岩田 千豊

出身校：
広島県立高陽高等学校

就職活動を通して私が大切にしていたことは、「等身大で勝負すること」と「行動すること」です。

私は大学生活の大半を制作に費やしてきたため、サークルや長期インターンといった“目立った経験”がなく、エントリーシートや面接で何を伝えればよいか悩んでいました。しかし、選考を重ねる中で、企業が重視するのは経験の華やかさではなく、「その経験を通じて何を学び、どう考え、行動したか」を自分の言葉で伝えることだと気づきました。そこで、制作の中での課題や工夫を振り返り、素直に伝えることを意識した結果、自然と自信を持って話せるようになりました。

また、就職活動を始めた当初は志望業界や職種が明確ではなかったため、幅広く行動することに努めました。気になる企業があればインターンや説明会に参加し、社員の方に直接話を聞くことで仕事内容や価値観への理解を深めました。今はネットでも情報が得られますが、実際に足を運ぶことで、企業の雰囲気や社風を肌で感じ、「自分に合っているか」を直感的に判断する材料にもなりました。こうした行動を重ねる中で、企業選びの軸も明確になり、自信を持って選考に臨めるようになりました。

最後に、就職活動中は不安になることもあると思います。私もそうでしたが、振り返ると、不安の多くは「行動できていない自分」から生まれていたと思います。情報が足りない、分からないと感じたときこそ、一歩踏み出すことが大切です。説明会に参加する、先輩に話を聞いてみる、そうした行動の積み重ねが自信になり、不安を少しずつ希望に変えてくれるはずです。焦らず、自分のペースで頑張ってください。

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、物事により創造的に立ち向かえる優れた創造性や判断力、それに裏付けられた専門的知識・能力や高い見識などの育成に特化した、実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しました。学部教育で培われた専門的素養のある人材を、よりレベルを高めた学修と研究への取組により、高度の能力を有する専門的職業人や研究者等へ鍛え上げると同時に、広く時代と地域の要請に応えられる人材を育成する研究拠点を目指します。

経済情報研究科 経済情報専攻 (修士課程)

入学定員 8名
修業年限 2年
学 位 修士(経済情報)

経済と企業活動のグローバル化と少子高齢化、さらに情報化社会の到来等により、学修しなければならない事柄の高度化、専門化や多岐化が進んでいます。一方では学際的な研究が必要であり、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。まず、大学院経済情報研究科(修士課程)は、経済・経営・情報科学という本来は異なった3分野の連携による高度な専門教育を提供し、学際的な研究を可能にしています。しかも、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者、および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成や税理士志望者の受入れ等の要請にも応えることを目指しています。すなわち、学問的裏づけがあり、かつ実践的問題解決能力をも備えた人材の育成が、本研究科の教育の狙いとなっています。なお、資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状(商業)と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。商業に関する教科の修得等、一定の基準を満たせば、資格取得が可能となっています。

日本文学研究科 日本文学専攻 (修士課程)

入学定員 6名
修業年限 2年
学 位 修士(日本文学)

日本文学研究科の教育目標は、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解し、その理解のもとに国際的な感覚を身に付け、異文化を共有できる人、また、そうした能力により、社会活動や文化活動に指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を育成することにあります。

具体的には、日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得し、豊かな人間性と高い倫理観をもち、本研究科で身につけた学識と研究能力を生かせる人です。

そのために、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養い、基幹科目として日本文学、日本語学、漢文学に関する深い学識と高度な研究方法を修得します。言語文化の探究と創造に取り組むため、専門科目として、日本古典文学、近代文学、日本語学に加え、周辺領域である、言語学、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作の特論をおいています。より広範な社会との連携のなかで言語文化の探究と創造に取り組むために、語学実践、英語学、哲学・倫理学の特論を関連科目としておいています。

美術研究科 美術専攻 (修士課程)

絵画研究分野(日本画・油画)、デザイン研究分野
入学定員 12名
修業年限 2年
学 位 修士(美術)

美術研究科では持続する創作活動を行うことができるよう、学部と大学院修士課程とを合わせた6年間のカリキュラムを一貫化し、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行っています。

授業科目は、芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を教授し、実技と演習によって構成される研究分野開設科目と合わせて美術の理論と実践の有機的な連携を図っています。

絵画研究分野

日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・日本画では古典作品の表現、技術および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。
- ・油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自の絵画表現を追究し、また必要となる技法や素材の研究を促します。

デザイン研究分野

広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究します。

Production Onomichi City University Committee of public relations
Chief Editor FUJIKAWA Yoshikazu (Professor: Department of Japanese Literature)
Art Direction ITO Asako (Associate professor: Department of Art & Design)
Editorial Design ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design)
Editor ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design)
OKAMOTO Shunsuke
(Associate professor: Department of Economics, Management & Information Science)
WAKAMATSU Kenji (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)
MURAKAMI Norihiko (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)

Campusmap Design HATA Yuina (Alumna, Department of Art & Design)
Accessmap Design FUJIHARA Saaya (Alumna, Department of Art & Design)
Print ART PRINTING co., Ltd

©Onomichi City University 2025